

日頃から大雨や台風への備えが大切です！

暗くなる前、ひどくなる前に、安全に避難を！

外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動しましょう。

風水害時に避難するときは

河川氾濫のときの避難の考え方

- 1・2階建ての木造住宅やマンションの低層階など、浸水の恐れがある階にお住まいの方
⇒ **災害時避難所や水害時避難ビル、近くの高い建物に避難**
- マンションの3階以上など、浸水のおそれがない階にお住まいの方
⇒ **自宅の安全な場所で待機し、安全を確保**

● 動きやすく安全な格好で避難

ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護し、すべりにくい靴を履きましょう。裸足や長靴は危険です。荷物は最小限に、両手がふさがらないようにしましょう。

● 浸水している状況では近くの高い建物に避難

既に浸水している場合や暗くて周囲が見えない時間帯など、避難所へ行くのが困難な場合は、近くの3階以上の建物に一時避難しましょう。

● やむを得ず浸水のなかを避難するときの注意点

深さに注意

歩行可能な水の深さは、男性で70センチメートル、女性で50センチメートルが目安です。ただし、くるぶし程度の浸水でも流れが激しい場合は歩行せず、高いところで救援を待ちましょう。

足元に注意

水面下にはふたの外れたマンホールや側溝などの危険な場所があります。長い棒などを杖代わりにして足元の安全を確認しながら歩きましょう。

一人で行動しない

隣近所に声をかけて集団で避難しましょう。はぐれないように体の一部をロープで結ぶとよいでしょう。



- **子どもや高齢者などへの配慮** 高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き輪をつけて安全を確保しましょう。

台風や大雨の情報をチェックする方法は

- ① テレビのデータ放送(NHKdボタン)
- ② ラジオ
- ③ 大阪市防災アプリ・東淀川区役所公式LINEなど



普段から用意しておいた方がいいもの

- ① 食料と水
- ② 懐中電灯やランタン、ヘッドライト
- ③ ラジオ(電池式)
- ④ 携帯電話の充電器(モバイルバッテリー)
- ⑤ 水害ハザードマップ(東淀川区版)
- ⑥ 防災マップ(東淀川区版)



水害ハザードマップ



防災マップ



問合せ 安全安心 1階8番 ☎ 4809-9820